

11月定例会常任委員会の審査

総務市民委員会

(補正予算1件、条例1件)

【委員長】小池義治 【副委員長】小野由美子
【委員】影山正直、望月昇、米山享範、高橋正典、石橋広明、佐野智昭

11月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧等

特集

議会広報委員会のページ

11月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧等

特集

議会広報委員会のページ

●目標の達成を意識した

SDGsプラットフォームの構築を

問 SDGsプラットフォーム構築業務として、企画調整費404万円余の増額及び限度額852万円余の債務負担行為の追加をし、全体構想及び制度設計、ウェブサイト構築のほか、プラットフォームの円滑な運営に向けた準備会の開催などを検討しているようですが、本事業に対する国からの補助金はありますか。

答 地方創生推進交付金の申請をしましたが、不採択となつたため、補助金はありません。

要望 昨年7月にSDGs未来都市に選定され、高い目標を掲げているため、目標達成を意識したSDGsプラットフォームの構築に努めてください。

●本市の個人番号カードの交付状況は

問 個人番号カード交付事業費を58万円余増額し、交付件数の増加に対応するため、個人番号カード交付窓口を増設することですが、本市の交付状況はいかがですか。

答 10月末日時点の交付枚数は6万6620枚で、交付率は26.3%です。なお、全国では21.8%、県内では21.3%の交付率となっています。

要望 マイナボ イント事業の効果もあり、今後も申請者の増加に伴う窓口の混雑が予想されるので、新型コロナウィルス感染症予防対策に十分留意しながら対応してください。



文教民生委員会

(補正予算4件、条例3件、その他1件、請願1件、陳情1件)

【委員長】山下いづみ 【副委員長】遠藤盛正
【委員】海野庄三、吉川隆之、小池智明、鳥居育世、川窪吉男、小沢映子

●教育・保育ICTシステム導入で

事務効率化と利便性向上を

問 保育園及び幼稚園では、教育・保育ICTシステムの導入により、保育士等の事務の効率化や、スマートフォンでの遅刻欠席連絡など、保護者の利便性向上を図ることですが、園児の検温情報の連絡など、機能の追加は可能ですか。

答 本システムは事業者と共同で開発しているので、園や保護者からの要望事項を順次追加することは可能です。

要望 現場が使いやすいものとなるよう、職員や保護者からの様々な要望を取り入れながら、よりよいシステムにしてください。

●コロナ禍における

病院事業の経営状況と今後の見通しは

問 今回の補正予算には収益的収入及び支出を計上していませんが、コロナ禍における収益的収支の現状と、今後についてどのように見通していくですか。

答 1病棟を新型コロナウィルス感染症患者専用としていることから、国より4月から8月までの空床補償として、約4億円を11月に受けました。これにより、来年2月までの資金繰りは心配ありませんが、9月以降の補償については、受入時期の見込みが立っていないため、現状では3月の支払いについては、一時借入金による対応も検討しています。

環境経済委員会

(補正予算1件、条例1件)

【委員長】藤田哲哉 【副委員長】井出晴美

【委員】小山忠之、太田康彦、笹川朝子、一条義浩、杉山諭、長谷川祐司

●吉野彰氏のノーベル化学賞受賞記念講演会を

聴講できない中学生への対応は

問 ものづくり人材育成事業費を283万円余増額し、昨年度延期となった吉野彰氏によるノーベル化学賞受賞記念講演会を開催することですが、中学生については聴講できる学校が限られているようです。聴講できない生徒に対してどのように対応しますか。

答 参加校については、昨年度の募集の際に教育委員会で調整した結果を引き継ぐ予定のため限定されますが、聴講できない生徒には、ユーチューブのライブ配信で視聴できるよう考えています。録画配信については、講師側の意向により行うことができません。

●丸火自然公園キャンプ場の

新型コロナウィルス感染症による影響は

問 今年度で契約期間が満了する予定の丸火自然公園運営管理業務は、コロナ禍で適切な業務量や委託料の算定等が難しいことから、令和3年度に限り非公募による単年度契約に変更するのですが、キャンプ場の利用に新型コロナウィルス感染症の影響はどのように出ていますか。

答 4月、5月の利用客数は昨年並みの予約がありました。その後、屋外という3密を避けやすい環境に加え、4月よりキャンプサイト内の火気使用が可能になったことから、6月以降は例年の約3倍、特に10月については約7倍の利用増となりました。

建設水道委員会

(補正予算4件、条例1件)

【委員長】萩田丈仁 【副委員長】萩野基行

【委員】笠井浩、鈴木幸司、井上保、望月徹、稻葉寿利、下田良秀

●事業者の声を聞き、入札制度の改善を

問 入札が不調となった原因について、事業者の声を聞いた上で入札制度の改善を図ることが必要だと考えますが、いかがでしょうか。

答 提出書類の多さや検査の厳しさに関する意見があることから、市と事業者で意見交換を行うほか、入札の手法についても工夫しながら実施ていきたいと考えています。

●不足する交通誘導警備員の対策は

問 工事が集中する時期は交通誘導警備員の確保が困難になることから、県では自家警備による交通誘導を試行的に導入したことですが、本市でも導入する考えはありますか。

答 交通誘導警備員の不足も入札不調の一因となることから、今後、県と意見交換をしながら検討ていきたいと考えています。



旧水道庁舎